

STAGE+を楽しむ(269)(HP 収載)

—ショパンのピアノ協奏曲—

1. 始めに

前報(269)に引き続き、STAGE+のショパンのピアノ協奏曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+の演奏を選びました。

ブルース・リウとヴァルチュハが奏でるショパンのピアノ協奏曲

ヒューストン交響楽団

ブルース・リウがヒューストン交響楽団と初共演し、ショパンが20歳の若さで書き上げたピアノ協奏曲第1番を披露します。指揮を務めるのは、世界から注目を浴びるスロヴァキアの鬼才ユライ・ヴァルチュハ。当代屈指のヴィルトゥオーゾであるリウの卓越したテクニックと豊かな音色にぴったりの演目といえるでしょう。ピューリッツァー賞を獲得した作曲家として知られるジョージ・ウォーカーがギリシャ神話を生き生きと音楽で描写した《イカルス・イン・オービット》、そして交響曲第2番ハ長調の心揺さぶる熱演にもご期待ください。

ソリスト:

ブルース・リウ (ピアノ)

演奏:

ヒューストン交響楽団

指揮:

ユライ・ヴァルチュハ

曲目:

ジョージ・ウォーカー イカルス・イン・オービット

フレデリック・ショパン ピアノ協奏曲第1番ホ短調 op.11

ロベルト・シューマン 交響曲第2番ハ長調 op.61



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回も、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って **LAN iPurifier Pro** を適用しています。

今回も、**OPT ISO BOX** の導入(21)で設定したように PC の受信から GPS クロックを入力した **SWD-DA20** に送り出して再生しています。

7月13日9:00からの再配信を試聴しました。

ウォーカーのイカルス・イン・オービットは初めて聴く短い現代曲のようです。

ショパンのピアノ協奏曲第1番は、お馴染みの曲で、ショパンコンクール優勝のブルース・リウの得意の曲で、この曲の詩情を表現してくれています。

ショパンコンクールの演奏機種は、**FAZIOLI** でしたが、今回は、スタンウェイでアンコール曲もショパンで、当代のショパン弾きになってきています。

シューマンの交響曲第2番は、ロマン派の代表らしい曲で、ヴァルチュハ指揮のヒューストン交響楽団は、ヨーロッパの指揮者によりよく歌わせる演奏です。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と LAN iPurifier Pro を適用し、さらに GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生した結果、ショパンの詩情あふれるピアノ演奏やロマン派らしいオーケストラの演奏が聴けました。

以上